

2020年8月作成（第1版）

プレガバリン OD錠 150mg「KMP」の 溶出試験について

溶出挙動に関する資料

共創未来ファーマ株式会社

(1) 規格及び試験方法

プレガバリン OD 錠 150mg「KMP」は、設定された溶出規格に適合していることが確認されている。

方法：日局溶出試験法(パドル法)

試験液：水 900mL

回転数：50rpm

測定法：液体クロマトグラフィー

規格：15 分間の溶出率が 85%以上のときは適合とする。

(2) 生物学的同等性試験

プレガバリン OD 錠 150mg「KMP」について、「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」(平成 24 年 2 月 29 日 薬食審査発 0229 第 10 号)(以下、ガイドライン)に従い溶出試験を行った。

<測定条件>

試験液： pH1.2、pH4.0、pH6.8、水

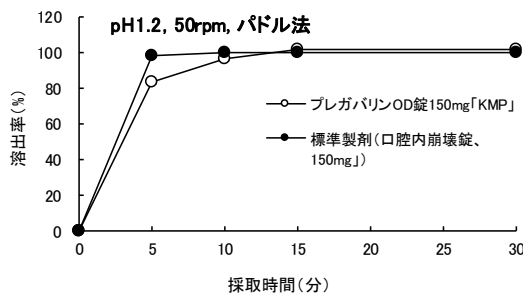
検体数： n=12

回転数： 50rpm

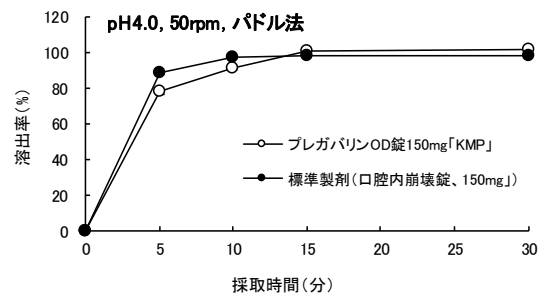
試験法： パドル法

試験製剤： プレガバリンOD錠150mg「KMP」

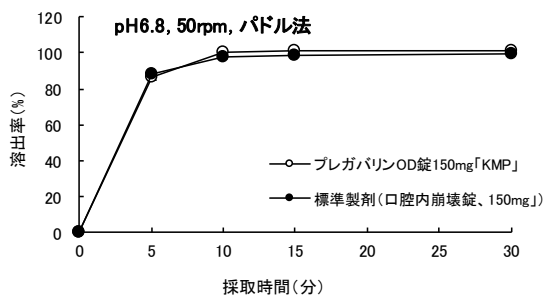
標準製剤： 口腔内崩壊錠、150mg



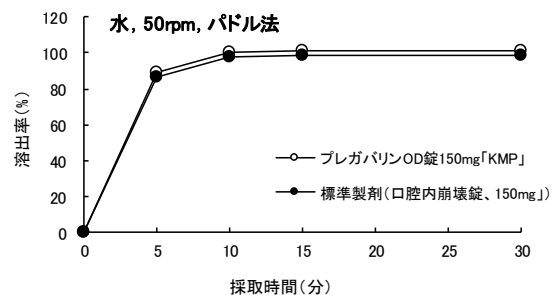
時間(分)	0	5	10	15	30
プレガバリンOD錠 150mg「KMP」	0	83.6	96.7	101.6	101.6
標準製剤(口腔内 崩壊錠、150mgJ)	0	98.2	100.2	100.1	100.5



時間(分)	0	5	10	15	30
プレガバリンOD錠 150mg「KMP」	0	78.1	91.6	101.1	102.0
標準製剤(口腔内崩 壊錠、150mgJ)	0	88.7	97.8	98.8	98.7



時間(分)	0	5	10	15	30
プレガバリンOD錠 150mg「KMP」	0	86.2	100.4	100.8	101.0
標準製剤(口腔内崩 壊錠、150mgJ)	0	88.2	97.7	99.0	99.3



時間(分)	0	5	10	15	30
プレガバリンOD錠 150mg「KMP」	0	88.9	100.1	100.8	101.2
標準製剤(口腔内崩 壊錠、150mgJ)	0	86.5	97.7	98.4	98.6


試験製剤及び標準製剤の類似性の判定基準及び判定結果

試験条件			平均溶出率(%)		両製剤の差(%)	判定基準	判定結果
回転数 (rpm)	試験液	採取時間 (分)	標準製剤	試験製剤			
50	pH1.2	15	100.1	101.6	1.5	試験製剤が 15 分以内に平均 85%以上溶出するか、又は 15 分における試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にある。	類似
	pH4.0	15	98.8	101.1	2.3		類似
	pH6.8	15	99.0	100.8	1.8		類似
	水	15	98.4	100.8	2.4		類似

(n=12)

上記の結果より、試験条件それぞれについて、ガイドラインの溶出挙動の類似性の判定基準に適合した。

従って、プレガバリン OD 錠 150mg「KMP」と標準製剤の溶出挙動は類似していると判断した。

製造販売元

共創未来ファーマ株式会社
 東京都品川区広町 1-4-4

preOD150-YS①